

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI天王寺		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2025年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を通じて、日常動作や人との関わり方、ルール理解など、幅広い成長が見込める。	お子様のレベルや目標に合った支援を行えるように、クラスに合わせてレベル設定を行う・必要に応じてパーテーションで活動スペースをわけている。様々な年代の子がいるので、あえて一緒に活動する事で、お互いに良い影響がある。	療育知識をさらに積みながら、経験と知識をベースに安定した療育を提供できるように、定期的な研修の機会を設けた。
2	お子様の事を理解し、お子様と保護者のニーズや課題を分析したうえで、個別支援計画を作成し、それに沿った支援を行っている。	事業所内でモニタリングやミーティングを行い、さらに保護者様からの面談でご様子やお困り事を伺った上で作成している。	支援内容にずれが生じたさいにはいつでも相談できるような雰囲気づくりを、教室全体で行っていく。
3	週ごとに季節や学校行事に沿ったイベントを行い、通所を楽しめるしかけをたくさん用意している。	日常的にお子様好きな事の聞き取りを行ったり、季節を感じられる創作物のイベントや運動イベントなど、バリエーション豊富な活動を提供している。	楽しいだけでなく、成長に繋げられるイベントでありたいので、どういう目的を持ってそのイベントを行うのか、共有意識を持って準備にあたる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスがなく、あるところと比べて保護者様への負担をかけてしまっている。	本社の方針として、送迎サービスを行わない事になっている。	送迎サービスの需要が高まってきたタイミングで、本社に指示を仰ぎ、検討する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会がない。	現時点でそのような取り組みは行なった事がない。	営業時間内の業務の取り組み方を考え、交流ができる時間を作れるようにする。また、定期的に園や他事業所等に訪問し、横の繋がりを高めるところから始める。
3	事業所に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っていない。	現時点で地域交流などの取り組みは行なった事がない。	現状のプログラムでは実現が難しいが、地域の方々に認知してもらい、地域連携に力を入れていくために今後検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI天王寺

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 17

回収数 : 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			1		
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		4	5	幼稚園に通っているので、特に交流が必要とは思わないです。	ご要望が生じましたら、機会を検討してまいります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1		1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	3	3	兄弟も一緒に参加できるように声掛けしていただき、ありがとうございます。	保護者様に沿った対応ができるように、これからも精進していきます。  保護者会については、ご要望がありましたら機会を検討します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1			幼稚園の行事や普段の困りごとにあわせて、支援を考えていただいているので安心感があります。	これからも日常的なお困り事をヒアリングしながら、成長に繋げられる支援を行えるよう尽力します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		1		周知の部分で漏れもあるかと思うので、保護者様がいつでも見れる位置にマニュアルを設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2		3		年に2回、子どもを交えた訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				苦手な運動もやってみる！という気持ちにさせてくれて、本人はとてうれしそうです。	これからもチャレンジして成功体験を積んでいけるような支援を心がけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI天王寺	公表日	2026年 2月 28日
------	-----------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		必要に応じてパーティションを使用し、活動スペースを分けることもある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基本的に3名は出勤しており、その日の児童の数や特性に応じて人数を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		視覚的にわかりやすい掲示を行ったり、コーナーガードをつけて怪我の防止につなげている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		療育後に毎日清掃や消毒を行っており、器具の配置も整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気分が不安定な子に対して、個室を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		支援終了後に毎回ミーティングを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・支援後にミーティングでその日の共有として、次回支援時に注意すべき事や、成長した点などを共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・実地指導や社内監査を通じて、適切な運営を行えるように定期的にチェックしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・支援後のフィードバックや、家族支援面談を通してお子様の課題や目標を考え、作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画完成後に全員に共有ができるよう、書面にて共有+重要な事は口頭で伝えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・毎日ツールを用いながら記録を残しており、半期毎に振り返りながら成長した点や課題を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		朝の打ち合わせで共有・相談している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		朝の打ち合わせで相談しており、その日のお子様のニーズを取り入れたメニューにできるだけ沿うように毎回考えている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			メニューの共有だけでなく、その目的まで共有する事を目指しながら、更なる療育の質を高めていく。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			日報、サービス提供記録等、毎日必ず記録を取るようになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			子どもの最近の様子を全員で共有してから参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5			保育所や園と交流を取る事は現状難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		家族参加プログラムとしてご家庭でもできそうな活動の提案は行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5					
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			半年に一度面談の機会を設け、ご意見の聞き取りを行うと共に、次の期間の療育の方向性をお伝えしている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3			ご希望がございましたら検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			日頃行っている運動メニューやイベントを、SNSにアップしている。また、活動の様子を個別に写真を通じてお知らせしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4			必要に応じて検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			アレルギーについては契約時に確認していると共に、お菓子など配る機会があれば、保護者様に改めて確認を取っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1			職員の入れ替えや新規職員の入職があった場合は、共通認識を持てるように、共有を行っている。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI天王寺		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2025年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を通じて、日常動作や人との関わり方、ルール理解など、幅広い成長が見込める。	お子様のレベルや目標に合った支援を行えるように、クラスに合わせてレベル設定を行う・必要に応じてパーテーションで活動スペースをわけている。様々な年代の子がいるので、あえて一緒に活動する事で、お互いに良い影響がある。	療育知識をさらに積みながら、経験と知識をベースに安定した療育を提供できるように、定期的な研修の機会を設けている。
2	お子様の事を理解し、お子様と保護者のニーズや課題を分析したうえで、個別支援計画を作成し、それに沿った支援を行っている。	事業所内でモニタリングやミーティングを行い、さらに保護者様からの面談で様子やお困り事を伺った上で作成している。	支援内容にずれが生じたさいにはいつでも相談できるような雰囲気づくりを、教室全体で行っていく。
3	週ごとに季節や学校行事に沿ったイベントを行い、通所を楽しめるしかけをたくさん用意している。	日常的にお子様好きな事の聞き取りを行ったり、季節を感じられる創作物のイベントや運動イベントなど、バリエーション豊富な活動を提供している。	楽しいだけでなく、成長に繋げられるイベントでありたいので、どういう目的を持ってそのイベントを行うのか、共有意識を持って準備にあたる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスがなく、あるところと比べて保護者様への負担をかけてしまっている。	本社の方針として、送迎サービスを行わない事になっている。	送迎サービスの需要が高まってきたタイミングで、本社に指示を仰ぎ、検討する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会がない。	現時点でそのような取り組みは行なった事がない。	営業時間内の業務の取り組み方を考え、交流ができる時間を作れるようにする。また、定期的に園や他事業所等に訪問し、横の繋がりを高めるところから始める。
3	事業所に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っていない。	現時点で地域交流などの取り組みは行なった事がない。	現状のプログラムでは実現が難しいが、地域の方々に認知してもらい、地域連携に力を入れていくために今後検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI天王寺

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 33

回収数 : 23

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	22			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23				毎週違うイベントをしてくれています。	これからも引き続き、飽きずに楽しんで活動できるプログラムを考案していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	6	9		95分の療育時間で難しい面はありますが、検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	1	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	20	3			迎えの際に、しっかりフィードバックしてくれています。また、家での様子もよく聞いてくれています。	細かなお困り事をお伺いし、少しでも日常生活の豊かさに繋げていけるように引き続きコミュニケーションを大事にします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1	1	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	5	7		保護者様参加のプログラムを通して、横の繋がりを持てるような時間を設けています。保護者会については、様々な意見がございますので、要望が次次第検討します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2		4	現状では半年以内の個別面談を設け、その時のお困り事をお伺いしています。その時以外でも、気軽にお話しいただけるような雰囲気づくりを改めて意識していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		7	SNSやメッセージツールにて、保護者様に共有を行っています。SNSの方は知らない方もいるかと思うので、改めて紹介する機会も検討します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		5	周知の部分で漏れもあるかと思うので、保護者様がいつでも見れる位置にマニュアルを設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		5	年に2回、子どもを交えた訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1		4	契約時には必ず説明を行なっています。不明な点がございましたらいつでもご連絡ください。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23				子どもたちが好きなキャラクターをテーマにしたイベントを開催してくれていて、とても楽しく通所できています。日常的にお子様の好きなものやできるようになりたい事など聞き取りを行いながら、楽しく成長できるプログラムを提供します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				いつもありがとうございます。たくさん運動療育施設なので、運動量を確保しながら、個々にあった成長を支援できるように頑張ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI天王寺			公表日		2026年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		必要に応じてパーティションを使用し、活動スペースを分けることもある。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基本的に3名は出勤しており、その日の児童の数や特性に応じて人数を調整している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		視覚的にわかりやすい掲示を行ったり、コーナガードをつけて怪我の防止につなげている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		療育後に毎日清掃や消毒を行っており、器具の配置も整えています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気分が不安定な子に対して、個室を用意している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		支援終了後に毎回ミーティングを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・支援後にミーティングでその日の共有として、次回支援時に注意すべき事や、成長した点などを共有している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・実地指導や社内監査を通じて、適切な運営を行えるように定期的にチェックしている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・支援後のフィードバックや、家族支援面談を通してお子様の課題や目標を考え、作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画完成後に全員に共有ができるよう、書面にて共有+重要な事は口頭で伝えている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・毎日ツールを用いながら記録を残しており、半期毎に振り返りながら成長した点や課題を確認している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		朝の打ち合わせで共有・相談している。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		朝の打ち合わせで相談しており、その日のお子様のニーズを取り入れたメニューにできるだけ沿うように毎回考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		メニューの共有だけでなく、その目的まで共有する事を目指しながら、更なる療育の質を高めていく。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日報、サービス提供記録等、毎日必ず記録を取るようになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		大阪市の区の部会に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		家族参加プログラムとしてご家庭でもできそうな活動の提案は行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			半年に一度面談の機会を設け、ご意見の聞き取りを行うと共に、次の期間の療育の方向性をお伝えしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		ご希望がございましたら検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			日頃行っている運動メニューやイベントを、SNSにアップしている。また、活動の様子を個別に写真を通じてお知らせしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			アレルギーについては契約時に確認していると共に、お菓子など配る機会があれば、保護者様に改めて確認を取っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			職員の入れ替えや新規職員の入職があった場合は、共通認識を持てるように、共有を行っていく。